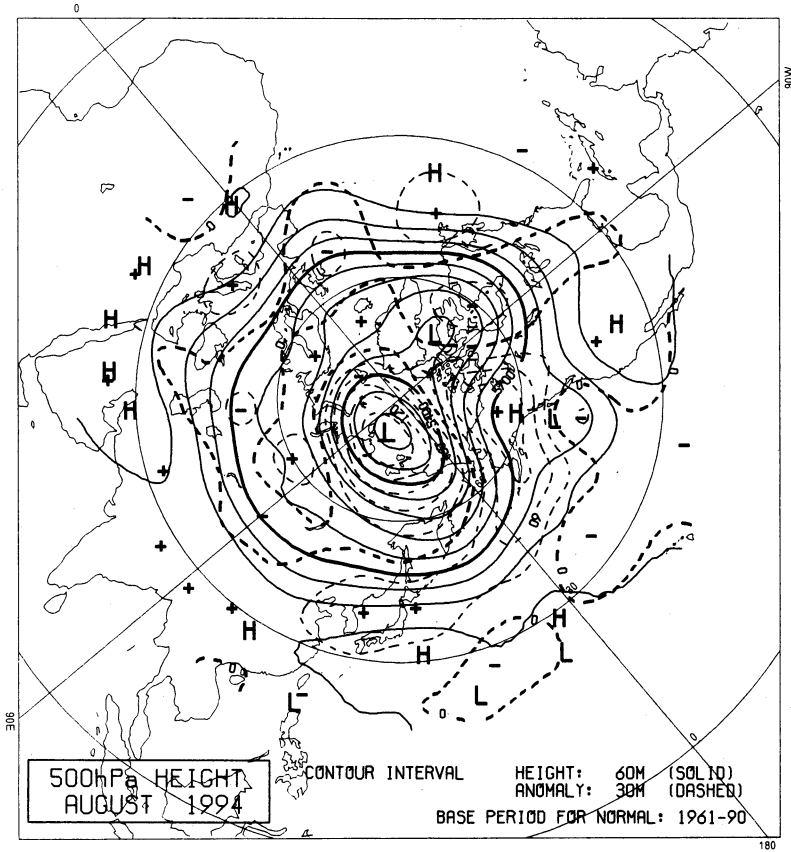


## 1994年8月の大気大循環と世界の天候 月平均 500 hPa 天気図



(破線は平年からの偏差. 単位m)

表 1 1994年8月の気候表

地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	—	—	—	—	—	—	カサブランカ	—	—	—	—	—	—
ベルリン	—	—	—	—	—	—	ニオロドサヘル	—	—	—	—	—	—
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	14.5	0.0	0.0	5	93	4
イスタンブール	24.6	1.6	1.4	16	61	3	バンクーバー	18.5	1.1	1.0	18	47	2
モスクワ	15.9	-0.4	-0.3	71	96	—	ニューオリンズ	27.4	-0.1	-0.1	117	75	3
オデッサ	22.2	1.0	0.8	113	335	5	セントルイス	24.8	-0.2	-0.1	96	133	4
ニューデリー	29.7	0.0	0.0	259	102	5	サンフランシスコ	18.1	0.5	0.6	0	0	3
カルカッタ	29.2	0.1	0.2	355	103	4	ニューヨーク	24.1	0.0	0.0	137	144	4
ボンベイ	27.2	-0.1	-0.3	280	61	2	マナウス	27.5	0.1	0.2	97	180	6
ホンコン	27.5	-0.9	-1.8	575	147	5	サンパウロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	23.3	2.0	1.7	131	103	0	ロサリオ	12.3	0.8	0.6	12	33	2
ベキン	26.5	1.9	2.7	214	118	4	ホノルル	29.1	1.6	2.7	4	36	2
シャンハイ	28.7	—	—	362	—	5	タヒチ	25.2	0.9	2.3	169	350	6
バンコク	28.6	-0.1	-0.2	141	72	—	ダーウィン	25.0	-1.0	-1.1	0	0	4
マニラ	27.2	-0.1	-0.1	—	—	—	キャンベラ	6.3	-0.7	-1.0	2	4	0

## 8月の世界の天候

8月の北半球500hPa高度天気図では、極付近の負偏差とカナダ北西部の正偏差が、さらに顕著となった。また、ヨーロッパ南部を中心に正偏差となり、ヨーロッパ北部の顕著な正偏差は弱まった。カナダ東部からアメリカ合衆国東部にかけて負偏差、アジアから太平洋北部にかけての広い範囲で正偏差となった。

- ①日本から中国中部にかけての高温
- ②日本から韓国東部にかけての少雨

日本周辺や中国中部では高温少雨となり、韓国のウルルン島では月平均気温26.4℃(平年差+2.8℃)、月降水量52mm(平年比49%)を記録した。黄海周辺や中国南部では多雨傾向となった。台湾や中国東部では台風の上陸が相次ぎ、特に中国東部では下旬の台風による大規模な洪水の発生と1000人以上の死者が伝えられた。

### ③ヨーロッパから地中海にかけての高温

ヨーロッパ南部を中心に高温となり、クロアチアのスピリトでは月平均気温27.9℃(平年差+3.0℃)を記録した。アルジェリア北部でも平年より3℃以上高温となった。また、ヨーロッパ北部や地中海沿岸は少雨傾向で、地中海沿岸各地で山火事が発生した。一方、ヨーロッパ中部では多雨傾向となった。またロシアなどで

は洪水の被害が伝えられた。

### ④北アメリカ西部の高温

北アメリカ西部では気温が平年より2℃以上高く、少雨傾向となってアメリカ合衆国北西部では大規模な山火事が発生した。北アメリカ中部から東部では低温多雨傾向で、アメリカ合衆国南東部ではハリケーンに伴う大雨やトルネードによる被害が伝えられた。

### ⑤オーストラリア東部からメラネシア南部にかけての少雨

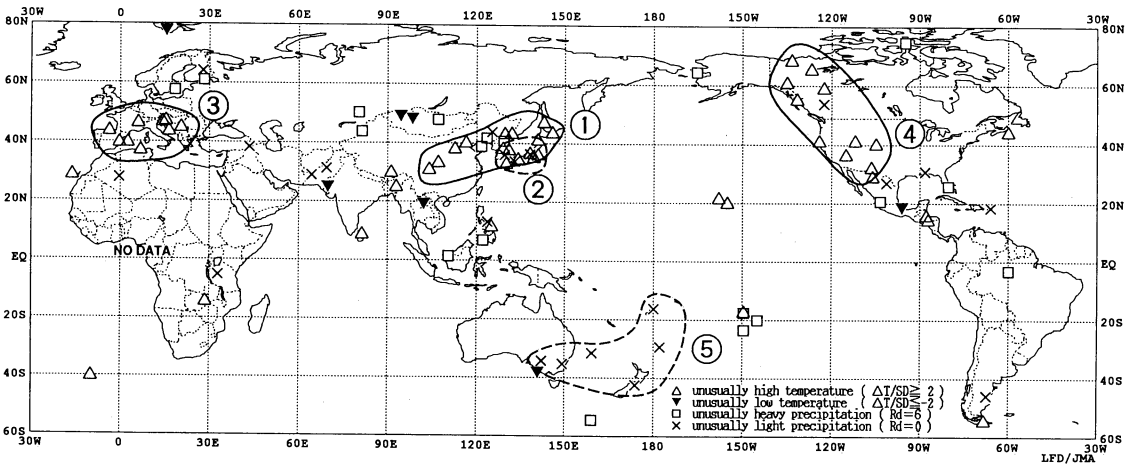
オーストラリア西部では高温多雨傾向となったが、オーストラリア東部からメラネシア南部にかけては低温少雨の所が多かった。オーストラリアのキャンベラでは月降水量2mm(平年比4%)を記録した。タヒチなどポリネシア南部では前月に続き多雨となった。

### ⑥その他

モンスーンは引き続き活発で多雨傾向の所が多く、インドやパキスタン、カンボジアなどで洪水の被害が報じられた。

また、データの入電は少ないが東部のエチオピアやスーダン、サヘル地方のニジェールで大雨による洪水が伝えられた。

(気象庁予報部長期予報課 神野正樹)



1994年8月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▼：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1994年8月の気候表の説明。平均値は、1961～1990年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500hPa高度場の平均値は1961～1990年の30年平均値。

## 1994年夏に日最高気温の高い記録を更新した 気象官署と記録が出現した日

1994年の夏は南西諸島を除いて記録的な高温となった。気象庁観測部統計室が発表した日最高気温の高い記録を更新した地点は北海道から九州まで61地点にのぼった。記録を更新した日は地域毎にまとまりがあり、数地点を除けば、図中A～Eの5つのグループに分けることができる。これらの期間の総観場の状況を下に記す。グループB、D、Eについては山脈の風下側のみで高温となっており、フェーン現象がかなり寄与していたと思われる。

グループ(出現日を含む期間) 日本付近の総観場の状況  
 A(7月15日～7月24日): 日本海や東シナ海に中心をもつ高気圧におおわれた。  
 B(8月3日～8月5日): 東日本では北よりの風が卓越した。  
 C(8月6日～8月8日): 本州付近に中心をもつ高気圧におおわれた。  
 D(8月4日～8月10日): 北海道付近は4, 7, 10日に南西の風が卓越した。  
 E(8月12日～8月16日): 日本付近は全般に南よりの風が卓越した。

(気象庁予報部長期予報課 藤川典久)

